

# 埼玉県の農林水産業の概要

## 特徴・取組

埼玉県は、周囲を1都6県に囲まれた海のない内陸県で全域が都心から100km圏内、県土面積に占める河川の割合は3.9%で全国第2位。人口は、約734万人で全国の5.8%を占め第5位、平均年齢は45.4歳で全国で6番目に若い。

内陸性の太平洋側気候に属し温暖である。関東地方の主要な社会・経済拠点として将来の更なる発展が期待される。

埼玉県内の事業所数（民営・非農林漁業）は約24万事業所、東京、大阪、愛知、神奈川に次ぎ全国第5位。産業大分類別事業者数では、製造業が第4位、卸売業・小売業が第6位となっている。

農林水産物については、恵まれた自然条件と、大消費地である首都圏の中央にある産地という「地の利」を生かし、野菜、米、麦、花き、果樹、畜産など多彩な農業生産が行われている。特に、産出額（令和2年）は、花きが全国第5位、麦類が第6位、野菜が第8位と全国でも有数の産地となっている。

埼玉県では、人口減少、デジタル技術の発展、経済の国際化、災害等のリスクの顕在化などの環境変化に的確に対応し、農林水産業の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、令和3年3月に、「埼玉県農林水産業振興条例」に基づき「埼玉県農林水産業振興基本計画」を策定した。この計画に基づき、農林漁業者の経営力向上や、農林水産業の競争力・持続性の強化を図り、農林水産物の安定供給や農山村の魅力の発揮を通じて、広く県民に喜ばれる農林水産業・農山村の実現を目指している。

具体的には、農林水産業への新規就業を促進するとともに、女性、高齢者の活躍や、企業などの参入を促し、多様な担い手を育成・確保し、農林漁業者の経営発展を図っている。

また、農林水産物を安定供給するため、優良農地の確保及び有効利用や、スマート農林業の推進、情報通信技術も活用した販路開拓、気象災害や家畜伝染病など様々なリスクへの対応に取り組んでいる。

さらに、農山村が魅力あるものとなるよう、農山村における生活環境の整備を行うとともに、適正な森林整備を通じて、水源かん養や土砂流出防止、二酸化炭素の吸収など公益的機能の発揮を促進している。

## 主な農林水産物

### 米

東部地域を中心とする早期栽培から、北部地域の二毛作など、地域の条件を生かした米作りが展開されている。



### 小麦

麦の主要な生産県であり、中でも小麦は、安定した品質に加えて、製粉工場が近いことなどにより高い評価を受けている。



### さといも

西部地域を中心に生産され、落ち葉堆肥を活用した特有の土壌で栽培された独特のぬめり・ねばりがある。（収穫量全国1位）



### ねぎ

県内で生産される野菜の中で最も作付面積が大きく、県を代表する野菜である。（収穫量全国2位）



### ほうれんそう

西部地域の間間地域は全国有数の産地となっており、土づくりに力を入れた組織的な生産を行っている。（収穫量全国1位）



### 狭山茶

西部地域の狭山丘陵地域を中心に生産され、「狭山火入」という独特の仕上げ技術により、甘く濃厚な味に仕上がっている。



### パンジー

中央・東部・西部地域を中心に栽培。露地やハウスにおいて周年栽培されている。（出荷量全国1位）



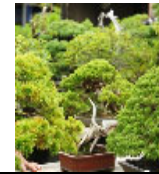
### ゆり

北部地域を中心に切り花の生産が盛んで、特にゆりの出荷量は全国の約2割を占めている。（出荷量全国1位）



### 盆栽

中央・北部地域を中心に生産が盛んで、欧州諸国をはじめ、韓国、中国、トルコ等への輸出が増えている。



### ホンモロコ

全国に先駆け水田を利用した養殖技術を確立。東部地域を中心に養殖が行われている。



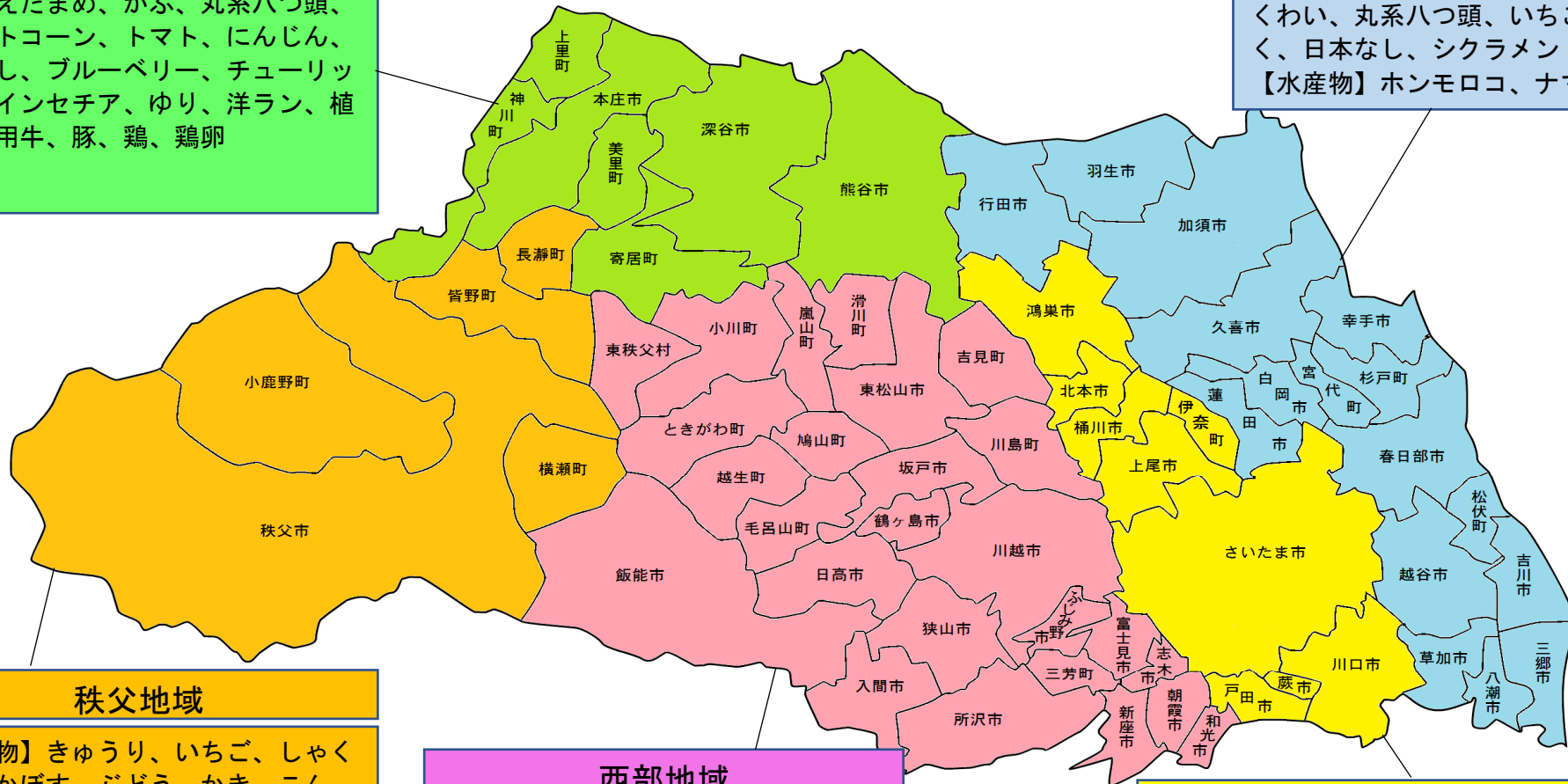
# 埼玉県内の各地域における農林水産物

## 北部地域

【農畜産物】水稲、小麦、ねぎ、きゅうり、やまといも、なす、ブロッコリー、えだまめ、かぶ、丸系八つ頭、スイートコーン、トマト、にんじん、日本なし、ブルーベリー、チューリップ、ポインセチア、ゆり、洋ラン、植木、肉用牛、豚、鶏、鶏卵

## 東部地域

【農産物】水稲、小麦、こまつな、きゅうり、ねぎ、トマト、えだまめ、くわい、丸系八つ頭、いちご、いちじく、日本なし、シクラメン  
【水産物】ホンモロコ、ナマズ



## 秩父地域

【農産物】きゅうり、いちご、しゃくし菜、かぼす、ぶどう、かき、こんにゃく、繭  
【林産物】しいたけ

## 西部地域

【農畜産物】さつまいも、こまつな、かぶ、ほうれんそう、さといも、えだまめ、くり、ぶどう、いちご、うど、にんじん、のらぼう菜、茶、いちじく、うめ、かき、ゆず、パンジー、洋ラン、鶏、肉用牛

## 中央地域

【農産物】くわい、こまつな、木の芽、ヨーロッパ野菜（スイスチャード、ビーツ等）、日本なし、ぶどう、洋ラン、植木、カーネーション、パンジー、プリムラ、シクラメン

# 埼玉県 の 農 業 ( 1 )

- ・耕地面積は7万3,500haで全国第16位。うち田が4万900ha、畑が3万2,600ha。
- ・農業経営体数は2万8,376経営体で全国第16位。総農家数は4万6,463戸で14位。
- ・認定農業者数は5,017経営体で全国第19位、うち436経営体は法人。

## 耕地面積

区 分	埼 玉 県	全 国	全国順位
耕地面積	73,500 ha	4,349,000 ha	16
田	40,900 ha	2,366,000 ha	23
畑	32,600 ha	1,983,000 ha	13
普通畑	29,800 ha	1,126,000 ha	8
樹園地	2,670 ha	263,200 ha	32
牧草地	68 ha	593,400 ha	37
参考) 総土地面積	379,775 ha	37,797,463 ha	39

出典:「令和3年耕地面積(7月15日現在)」、「令和3年全国都道府県市区町村別面積調」(国土交通省国土地理院)

## 荒廃農地面積

区 分	埼 玉 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	3,493 ha	281,831 ha	27

出典:「令和2年の都道府県別の荒廃農地面積」

## 担い手への農地の集積状況

区 分	埼 玉 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	23,742 ha	2,535,115 ha	26
集積率	32.0 %	58.0 %	31

出典:「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和2年度版)」

注: 農地中間管理機構を介さないものを含む。  
令和3年3月末の数値である。

## 農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	埼 玉 県	全 国	全国順位
農業経営体数	28,376 経営体	1,075,705 経営体	16
法人経営体	538 経営体	30,707 経営体	26
総農家数	46,463 戸	1,747,079 戸	14
販売農家	27,588 戸	1,027,892 戸	16
参考) 世帯総数	3,162,743 世帯	55,830,154 世帯	5
集落営農数	79 集落営農	14,490 集落営農	38

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(令和3年2月1日現在)」

## 基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	埼 玉 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	37,683 人	1,363,038 人	15
男	23,072 人	822,144 人	13
女	14,611 人	540,894 人	14
65歳以上	27,354 人	948,621 人	12
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	72.6 %	69.6 %	-
認定農業者数	5,017 経営体	233,806 経営体	19
法人数	436 法人	26,080 法人	27
参考) 総人口数	7,344,765 人	126,146,099 人	5

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和2年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

# 埼玉県 の 農 業 ( 2 )

- ・ 農業産出額は1,678億円で全国第20位。野菜が831億円（8位）、花きが151億円（5位）、麦類が10億円（6位）。
- ・ 農畜産物の生産状況は、ほうれんそう、さといもの収穫量、ゆり、パンジーの出荷量が全国第1位。
- ・ 農業者等による生産関連事業は、農産物直売所の年間販売金額が447億4千万円で全国第3位。

## 農業産出額

区 分	埼 玉 県	全 国	全国順位
農業産出額	1,678 億円	89,557 億円	20
米	327 億円	16,551 億円	18
麦類	10 億円	521 億円	6 *
雑穀	1 億円	77 億円	16
豆類	2 億円	712 億円	30
いも類	29 億円	2,391 億円	12
野菜	831 億円	22,520 億円	8
果実	54 億円	8,741 億円	37
花き	151 億円	3,080 億円	5
工芸農作物	14 億円	1,553 億円	16
その他作物	14 億円	697 億円	12 *
畜産	245 億円	32,279 億円	34
肉用牛	36 億円	6,863 億円	34
乳用牛	69 億円	9,310 億円	24
生乳	58 億円	7,798 億円	24
豚	60 億円	6,596 億円	25
鶏	75 億円	8,724 億円	30
鶏卵	74 億円	4,577 億円	23
ブロイラー	x 億円	3,621 億円	- *
その他畜産物	4 億円	787 億円	12
加工農産物	1 億円	436 億円	30

出典：「令和2年生産農業所得統計」

注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。

2 「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

## 農畜産物の生産状況

区 分	年次	埼 玉 県	全 国	全国順位	
ほうれんそう	収穫量	R2	22,700 t	213,900 t	1
さといも	収穫量	R2	17,700 t	139,500 t	1
ゆり	出荷量	R2	24,000 千本	115,500 千本	1
パンジー	出荷量	R2	8,600 千本	113,400 千本	1
ねぎ	収穫量	R2	50,600 t	441,100 t	2
こまつな	収穫量	R2	14,200 t	121,900 t	2
かぶ	収穫量	R2	16,100 t	104,800 t	2
きゅうり	収穫量	R2	46,100 t	539,200 t	3
水稻	収穫量	R3	152,400 t	7,563,000 t	18
小麦	収穫量	R3	19,700 t	1,078,000 t	9
鶏卵	生産量	R2	42,192 t	2,632,882 t	23
豚	飼養頭数	R3	80,600 頭	9,290,000 頭	25

出典：「野菜生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「作物統計」、「畜産物流通統計」、「畜産統計」

## 農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	埼 玉 県	全 国	全国順位	
農産物直売所	総額	44,744 百万円	1,053,366 百万円	3
	事業体数	890 事業体	23,650 事業体	8
農産加工	総額	9,983 百万円	946,841 百万円	27
	事業体数	620 事業体	32,400 事業体	26
観光農園	総額	1,414 百万円	35,943 百万円	9
	経営体数	230 経営体	5,290 経営体	6

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

# 埼玉県の林業

- ・ 林業産出額は14.6億円で、うち栽培きのご類生産が10億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が6万3千㎡で全国第40位、生しいたけの生産量が768tで23位。
- ・ 製材工場数は、48工場で全国第38位。

## 林野面積

区分	埼玉県	全国	全国順位
林野面積	119,466 ha	24,770,201 ha	41
国有林	11,884 ha	7,153,338 ha	38
民有林	107,582 ha	17,616,863 ha	41
人工林面積	59,235 ha	10,203,842 ha	41

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「森林資源の現況(平成29年3月31日現在)」

## 林業経営体数

区分	埼玉県	全国	全国順位
林業経営体数	129 経営体	34,001 経営体	44
法人経営体	16 経営体	4,093 経営体	44

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

## 林業産出額

区分	埼玉県	全国	全国順位
林業産出額	14.6 億円	4,286.4 億円	40
木材生産	4.5 億円	1,943.7 億円	40
栽培きのご類生産	10.0 億円	2,259.6 億円	34

出典：「令和2年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

## 林産物の生産状況

区分	埼玉県	全国	全国順位
素材生産量	63 千㎡	19,882 千㎡	40
針葉樹	38 千㎡	18,037 千㎡	42
ひのき	11 千㎡	2,722 千㎡	29
からまつ	1 千㎡	2,008 千㎡	14
広葉樹	25 千㎡	1,845 千㎡	17
なめこ	生産量 306 t	22,835 t	11 *
まいたけ	生産量 138 t	54,993 t	12 *
ひらたけ	生産量 16 t	3,824 t	14 *
乾しいたけ	生産量 10 t	2,302 t	22
生しいたけ	生産量 768 t	70,280 t	23

出典：「令和2年木材需給報告書」、「令和2年特用林産基礎資料」

注：「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

## 製材工場数

区分	埼玉県	全国	全国順位
工場数	48 工場	4,115 工場	38
製材用素材の入荷があった工場数	48 工場	4,067 工場	38
国産材のみ	42 工場	3,237 工場	33
国産材と輸入材	6 工場	653 工場	34

出典：「令和2年木材需給報告書」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

# 埼 玉 県 の 漁 業

- ・内水面漁業経営体数は111経営体で全国第12位。
- ・内水面漁業・養殖業生産量は3tで全国第43位。

## 漁業経営体数

区 分	埼 玉 県	全 国	全国順位
内水面漁業経営体数	111 経営体	4,772 経営体	12

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

## 水産物の生産状況

区 分	埼 玉 県	全 国	全国順位
内水面漁業・養殖業生産量	3 t	50,832 t	43 *
内水面漁業漁獲量	2 t	21,745 t	39 *
内水面養殖業収獲量	1 t	29,087 t	45 *

出典：「令和2年漁業・養殖業生産統計」

- 注：1 海面漁業・養殖業生産量は、当該都道府県に所在する漁業・養殖業経営体の生産量である。  
 2 「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。  
 3 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた区域において、同事故の影響により出荷制限又出荷自粛の措置がとられたものについては、生産量に含めていない。

# 埼玉県の農林水産業の話題等

## 埼玉県育成のいちご新品種「べにたま」が品種登録の出願公表

埼玉県は、埼玉県農業技術研究センターが育成した優良系統「いちご彩6号」について、「べにたま」の名称で品種登録出願し、9月16日付け官報で出願を公表した。

「べにたま」は、「とちおとめ」に比べ、大粒で糖度が高く、さわやかな酸味もあり、口いっぱい芳醇な香りが広がる。果肉は真っ白で、赤と白のコントラストがとても綺麗。現在、加須市北川辺地区及び吉見町において、市場出荷産地に限定した試験栽培を実施中。

県オリジナル品種「あまりん」「かおりん」に続く品種として本格的に販売するため、生産の拡大を図っていく。



埼玉県育成品種「べにたま」

出展：埼玉県HP

<https://www.pref.saitama.lg.jp//a0904/yasai/benitama.html>

## 自律走行型ロボットによる農薬散布の見学会を開催！（深谷市）

深谷市は、農業課題解決のために農家と技術革新を得意とする企業のマッチングを図る「アグリテック集積都市（DEEP VALLEY）」を推進し、農業先進都市を目指す。

テクノロジーによる農業の課題解決を目的としたビジネスコンテスト「DEEP VALLEY Agritech Award 2020」の現場導入部門の最優秀賞に選ばれた。また、農林水産省の令和3年度スマート農業実証プロジェクトにも採択された自律走行型ロボットの見学会が令和3年12月に開催され、農薬散布の実演に多くの農業関係者の関心が集まった。

ロボットは畝をまたぐ形状でゆっくりと畝間を走行。事前にGPSの座標で入る畝の位置を設定し、畝に入ったことを認識するとブームを広げ、畝を追随しながら自動走行で農薬を散布。最大7畝をカバーして10a当たり20～25分の速度で散布することができる。畑の条件により自律走行が困難な場合に備え、手動走行モードが搭載されている。

農家と一緒に地道に取り組むことで現場への浸透を目指してきたことが、形になりつつある。このことが今回のイベントで感じられた。



見学会の様子



自律走行型ロボットによる農薬散布

出典：深谷市HP（DEEP VALLEY）

<https://deep-valley.jp/report/report1217/>